

住民からの声

捨てられる食物には、使われずに腐る（買いすぎ）・調理法がわからない（皮や葉など）・食べきれない（作りすぎ）などがあります。

私は、日頃から生ごみを減らす料理を心がけています。

我が町にある「エコ・ハウスたかねざわ」では、毎月1回「エコ料理研究会」を開催し、時間・お金・エネルギーの節約ができ、健康にも良い食事等を提案し、家庭のキッチンから少しずつできる地球にやさしい生活に取り組んでいます。

興味のある方、ぜひ参加してみてください。



高根沢町在住
高野 江美さん



矢板市在住
近藤 理恵さん

地球温暖化という、近い将来に深刻な影響を及ぼす環境問題が進んでいます。

物が溢れ、使い捨ての時代、リサイクル出来るものまで、ごみとして捨てられ、燃やされているのです。

我が家には6歳になる息子がおります。毎日飲む牛乳も「パックを30枚リサイクルすれば、トイレットペーパー5個になるんだよ」と話しています。

各家庭や教育の場でもごみをリサイクルして、地球と子供達を守る対策を始めてみませんか。

平成17年2月1日から 事業系ごみの排出方法が変わりました

ごみの分別推進と不正搬入を防止するため

透明・半透明袋への事業所名の記入をお願いいたします。

塩谷広域環境衛生センターでは、事業系ごみの分別推進を図るため、平成11年度より透明または半透明の袋での排出をお願いしておりますが、事業系ごみの搬入検査を行ったところ、可燃ごみの中にペットボトルや古紙類などの資源物が多数見受けられました。また、ごみ処理施設への不正搬入が県内の市町村でも発生しており、塩谷広域圏内においても対策をとる必要があります。

《記入例》



※事業所名はマジック等で記入して下さい。
※定期的な搬入ごみ検査を実施いたします。

事業所名が記入されていないものや、分別がされていないものについては、内容物を確認のうえ事業所へお伺いすることがあります。

～塩谷広域行政組合・矢板市・塩谷町・氏家町・高根沢町・喜連川町～

「ニュースレター」及び「ごみ処理行政」に対するご意見・ご提案をお気軽にお寄せください。また、塩谷広域行政組合のホームページも開設しております。

※ホームページアドレス <http://www.shioyakouiki.or.jp/>

問い合わせ先

〒329-1572 栃木県矢板市安沢3622番地1

塩谷広域行政組合 次期ごみ処理施設整備担当 阿久津・鈴木・印南
TEL 0287-48-2760 FAX 0287-48-0463